

【授業科目】 看護管理学特論Ⅱ（看護実践における管理機能） Advanced Nursing Administration Ⅱ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
豊田 妙子	1年次 後期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	<p>看護サービス提供が効果的に実施されるための連携・協働について看護管理の機能を学ぶ。保健医療組織が社会的共通資本であることを踏まえて、所属組織内のみならず地域と連携して看護サービスを提供するために組織構成員や他の組織との連携・協働の方法について理解を深める。実務家教員（豊田）がすすめる。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/提出された課題にコメントをつけて返却する。あるいは全体の総評コメントを学生に掲示または口頭にて伝える</p>					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	<p>①保健医療組織における管理上の課題について考えることができる。</p> <p>②看護業務における管理調整機能について考えることができる。</p> <p>③看護サービス提供における看護管理上の課題解決についての提案ができる。</p>					
時間外学習 に必要な 内容・時間	<p>配布資料を授業後に予習・復習することで、理解を深めること。 臨床での経験を生かし、授業での意見交換を積極的に行うこと。 提示する課題に関連する文献検索・検討を行っておくこと。 (各回事前事後学習に4時間)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>1. 看護管理学における管理の概念 2. 社会的共通資本 3. 社会的責任 4. ネットワーク経営 5. 医療経済と看護 6. 保健医療の機能分化 7. チーム医療と専門職種間連携・協働、地域連携・協働 8～9. 病院の組織構造の特徴・看護部の組織構造の特徴 10～11. 保健医療組織における管理上の問題 12～13. 保健医療組織における管理調整機能 14～15. 看護管理上の課題解決の検討</p>					全て豊田
評価方法 評価基準	授業への参加態度、プレゼンテーション、レポートなど合わせて総合的に評価する。					
教科書	使用しない	参考書等	<p>スティーブン P. ロビンス (著)、高木 晴夫 (翻訳)：新版組織行動のマネジメント—入門から実践へ、ダイヤモンド社、2009、井部俊子監修：看護管理学習テキスト第3版1～5巻・別巻、日本看護協会出版会 ほか、適宜紹介する</p>			